



今回から広報編集委員が、頑張っているグループや人物を紹介していきます！

子どもが楽しく！大人はもっと楽しく!!

のいち遊びすとクラブ

「別に難しいことじゃないき。昔、みんなあがりよった懐かしい遊びを、子どもらあに伝えていってらえいがです」...そうやって集まってきた大人たち。「わりごと」やったおんちゃんや、自分の子どもと同じように「こりゃあー」と叫べるおばちゃんたちが集結し、楽しくたくましく活動しています。

活動

学校週5日制の導入により、子どもをとりまく地域教育に力が求められていた平成10年に発足しました。

炭焼き体験や凧作り、どろ



あゆびすと 2007

第53回「野塾」に向けての打ち合わせ

「運動会にキャンプ、里山登山など、遊びを通して自然の中から知恵や技を学ぶ場所。それを野塾」と名付けました。「野塾」では、まず集まった子どもたちを縦割り班に分けます。兄弟や友だち同士で参加していてもバババ。いろいろな人とかかわりを持ち、友だちになってほしいとの思いからです。最初は戸惑っていても、すぐ仲良くなれるのは子どもものいいところだと話されます。

メンバー

「クラブ」の立ち上げは勉強会などを重ね、1年後ぐらいに...と考えていたようですが、「とにかくやってみよう!」と熱い思いでその年から出発しました。

10人の運営委員と40人余りの会員が、それぞれ得意な分野を持っている遊びの達人です。

メンバーの中には「

一緒に参加していた自分たちの子どもは成長したので、次は孫と参加したい」とまだまだ元氣な活動は続きそうです。

こんなことも

大雨にたたられたキャンプでは、どうすることもできず体育館に避難。しかし、どうしてもテントで寝たい子どもたちの声に、館内にテントを張ったとか。カレイ作りで玉ねぎの皮むきをお願いすると「なんと、食べるころまでむき切った!」と大笑い

これから

合併により、夜須 香我美・吉川地区と参加してくれる子どもたちの輪が広がってきました。次の予定が何も決まっていないのに「次も参加したいき予約して帰る」と言いたす子も...!



もう一度ガキ大将に戻って、子どもらあといっしょに外へ出てみんかえ?

よほど楽しかったのでしょうか、ぜひ親子で参加していただきほしい、スタッフとしての仲間入りも大歓迎です」と子どものように輝かせている皆さんでした。

編集後記

七夕に願いを込めて...

「気持ち」を「文章」にしてくれる素敵な変換キーをください!

最近、ホタルが減少しているような? 環境の変化がそうさせているのか? 来年はもっとたくさんさんのホタルがみれますように! (M) 沖繩の波照間島では南十字星が見られるみたいです。今年も楽しいことがありますように!



おわびと訂正

《6月号》お知らせの「バリアフリー」の改修に伴う固定資産税の特例措置の税額は、3分の1減額でした。おわびして訂正いたします。

《広報へのメール》
kouhou@ci.ty.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp